

平成27年度

大学院医学系研究科
(博士課程)

学生募集要項

一般入試
社会人入試

平成27年度の本研究科の学生募集は
第1次募集(試験日:平成26年9月3日),
第2次募集(試験日:平成27年3月4日)
の2回実施します。

信州大学

信州大学大学院入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

求める学生像

信州の悠久の歴史と文化、豊かな自然環境のもと、地域に根ざし世界に開かれた信州大学大学院は、総合大学の特色を生かし、国の活力を高める次世代を担う卓越した人材や世界的な視点で新たな価値を創造する質の高いグローバルな高度専門職業人の養成を目指しています。そのため、以下のような能力や意欲を備えた人たちを積極的に受け入れます。

- ・ 幅広い教養と専攻する分野の専門知識を持ち、さらに高度な専門的知識・専門応用能力を修得したい人
- ・ 知的好奇心が旺盛で、専門的課題や地域社会の抱える課題に主体的に取り組む人
- ・ 深い知性、論理的な思考力、豊かな人間性を備え、様々な分野でリーダーシップを発揮し、活躍したい人
- ・ 社会・環境・国際問題に関心をもち、創造力を活かし、グローバルに活躍したい人
- ・ 職業経験から獲得した知識・技能を高度化、深化させたい人

入学者選抜の基本方針

信州大学の教育の理念・目標に則り、各研究科の特性に応じた公正かつ適切な方法で入試を実施し、大学院教育を受けるにふさわしい能力・適性等を多面的・総合的に評価します。

信州大学大学院医学系研究科博士課程入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

医学系専攻

人類の福祉と医学の発展をたえず視点におき、医科学の真理の深奥を究め、基礎・臨床医学の枠を超えた医学研究を行い、世界を先導するような創造的研究・トランスレーショナルリサーチを実施する医学研究者、移植医療、再生医療、遺伝子医療など先端医療を科学的基盤に基づいて実践する医学研究者及び高度医療職業人を育成することを目的とします。

医学系専攻では、本専攻の目的の下に、

- 1 医学の基礎的あるいは臨床的研究に情熱をもって取り組む人
- 2 世界をリードする最先端の研究を目指す意欲をもっている人
- 3 医学研究のための広汎で高い基礎学力、見識を身につけた社会人を求めています。

疾患予防医科学系専攻

ヒト生命の本質を把握すべく遺伝子（ゲノム）レベルから個体、社会レベルまで総合的解析を行い、ヒトの基礎的生命現象と疾病機序の理解に基づいて、疾病予防及び制御と健康づくりを目指す包括的予防医科学領域を開拓することを目的とします。

疾患予防医科学系専攻では、本専攻の目的の下に、

- 1 ヒトの発生・発達・老化などの基礎的生命現象に基づいた諸疾患の病態と予防について先端的知見、俯瞰的理解とそれらの応用に興味を有する人
- 2 基礎生命科学・疾患病態学・予防医科学分野の研究を遂行するための情報収集・分析能力と実験技術を習得する意欲と基礎力を有し、研究成果のグローバルな発信に興味を有する人を求めています。

1. 専攻及び募集人員

専攻	領域	教室	募集人員	備考
医学系	生体制御 (循環, 呼吸, 免疫, 消化, 生殖機能を中心とした研究領域)	病理組織学 器官制御生理学 分子細胞生理学 分子薬理学 免疫・微生物学 分子細胞生化学 感染防御学 免疫制御学 呼吸器・感染症内科学 循環器内科学 消化器内科学 腎臓内科学 リウマチ・膠原病内科学 糖尿病・内分泌代謝内科学 呼吸器外科学 消化器外科学 小児外科学 心臓血管外科学 乳腺内分泌外科学 産科婦人科学 麻酔蘇生学 救急集中治療医学 臨床薬理学	40人 ※1	社会人入試を含む。※2
	腫瘍 (悪性新生物を中心とした研究領域)	病理組織学 器官制御生理学 免疫・微生物学 分子細胞生化学 呼吸器内科学 血液内科学 小児医学 皮膚科学 画像医学 消化器外科学 呼吸器外科学 脳神経外科学 泌尿器科学 乳腺内分泌外科学 産科婦人科学 包括的がん治療学		
	再生・再建 (ES細胞, 組織再生, 再建, 移植を中心とした研究領域)	組織発生学 心臓血管外科学 移植外科学 泌尿器科学 運動機能学 形成再建外科学 歯科口腔外科学		
	脳・感覚機能 (中枢神経系や感覚器を中心とした研究領域)	人体構造学 脳神経内科学 精神医学 運動機能学 形成再建外科学 脳神経外科学 眼科学 耳鼻咽喉科学		

	健康・社会医学 (個体レベルの健康障害や社会と医療の関わりを中心とした研究領域)	法医学 遺伝医学・予防医学 衛生学公衆衛生学 小児医学 画像医学 病態解析診断学 医療情報学 医学教育学(寄附講座)		
専攻	部門	教室	募集人員	備考
独立専攻	疾患予防医科学系	分子細胞制御学	8人 ※1	社会人入試を含む。※2
		個体機能制御学		
		健康促進学 (協力・連携部門)		

※1 募集人員は、第1次募集と第2次募集を合わせたものです。

※2 社会人入試は、社会人が最新の医学知識・技術を学び取り、高度な医学能力、臨床医能力を身につけ、その成果を地域社会に還元したいという声に応え、昼夜開講制を導入しました。
(昼夜開講制とは、夜間や特定の時間又は時期に大学院の授業及び研究指導の時間を設けることによって、開業医及び病院勤務医又は官公庁及び製薬、医療機器メーカー等に勤務する医学関連分野の研究者などが大学院教育をより受け易くする制度です。)

2. 出願資格

次のいずれかに該当する方が出願できます。なお、社会人入試志願者は、開業医又は病院並びに官公庁及び製薬、医療機器メーカー等に職員として勤務しており、入学後もその身分を有したまま所属長から受験許可を受けた方とします。

- (1) 大学における医学、歯学、薬学(修業年限が6年のものに限る。)又は獣医学を履修する課程を卒業した方又は平成27年3月までに卒業見込みの方
- (2) 医学系、理工学系又は農学系研究科の修士課程を修了した方又は平成27年3月までに修了見込みの方
- (3) 外国において学校教育における18年の課程を修了し、その最終の課程が医学、歯学、薬学又は獣医学であった方又は平成27年3月までに修了見込みの方
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程を修了し、その最終の課程が医学、歯学、薬学又は獣医学であった方又は平成27年3月までに修了見込みの方
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における18年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、その最終の課程が医学、歯学、薬学又は獣医学であった方又は平成27年3月までに修了見込みの方
- (6) 文部科学大臣の指定した者《昭和30年文部省告示第39号…(注1)参照》
[修士課程を修了した方(平成27年3月までに修了見込みの方を含む。)]等

- (7) 学校教育法第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した方であって、本研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (8) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学における医学、歯学、薬学（修業年限が 6 年のものに限る。）又は獣医学の課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた方で、平成 27 年 3 月 31 日までに 24 歳に達する方
- (9) 大学における医学、歯学、薬学（修業年限が 6 年のものに限る。）又は獣医学の課程に 4 年以上在学した方（平成 27 年 3 月までに 4 年以上在学する見込みの方を含む。）であって、本研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの
- (10) 外国において学校教育における 16 年の課程を修了し（平成 27 年 3 月までに修了見込みのものを含む。）、その最終の課程が医学、歯学、薬学又は獣医学であった方で、本研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの
- (11) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了し（平成 27 年 3 月までに修了見込みのものを含む。）、その最終の課程が医学、歯学、薬学又は獣医学であった方であって、本研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの
- (12) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し（平成 27 年 3 月までに修了見込みのものを含む。）、その最終の課程が医学、歯学、薬学又は獣医学であった方であって、本研究科の定める単位を優秀な成績で修得したと認めたもの

(注 1) 文部科学大臣の指定した者とは、次の各号のいずれかに該当する方です。

- ① 旧大学令（大正 7 年勅令第 388 号）による大学の医学又は歯学の学部において医学又は歯学を履修し、これらの学部を卒業した方
- ② 防衛庁設置法（昭和 29 年法律第 164 号）による防衛医科大学校を卒業した方
- ③ 修士課程を修了した方及び修士の学位の授与を受けることのできる方並びに前期及び後期の課程の区分を設けない博士課程に 2 年以上在学し、30 単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた方（学位規則の一部を改正する省令〔昭和 49 年文部省令第 29 号〕による改正前の学位規則〔昭和 28 年文部省令第 9 号〕第 6 条第 1 号に該当する方を含む。）で本研究科において、大学の医学、歯学、薬学（修業年限が 6 年のものに限る。）又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた方
- ④ 大学（医学、歯学、薬学（修業年限が 6 年のものに限る。）又は獣医学を履修する課程を除く。）を卒業し、又は外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において 2 年以上研究に従事した方で、本研究科において、当該研究の成果等により、大学の医学、歯学、薬学（修業年限が 6 年のものに限る。）又は獣医学を履修する課程を卒業した者と同等以上の学力があると認めた方

備考：医療行為を伴う臨床研究を行う場合には、日本国の医師免許証又は歯科医師免許証を取得していることが必要となります。

3. 出願資格の審査

『2. 出願資格（6）（注1）③，④及び（7）～（12）』に該当する方については、個別に資格審査を行いますので、受付期間内にそれぞれ該当する欄の書類を提出してください。

（1）出願資格認定申請書類受付

受付期間

第1次募集 平成26年7月14日（月）～平成26年7月18日（金）

第2次募集 平成27年1月13日（火）～平成27年1月16日（金）

受付時間 9時～17時

（郵送の場合は簡易書留郵便とし、受付期間内に必着）

提出先 〒390-8621 長野県松本市旭3丁目1番1号
信州大学医学部大学院係

（2）申請書類（※印は本研究科所定の用紙）

①出願資格（6）（注1）③，④及び（8）に該当する方

※出願資格認定申請書 （様式7）	必要事項を記入してください。
※志望理由書（様式8）	本研究科を志望した理由及び入学後の研究志望の概要を記入してください。
※研究歴証明書（様式9）	大学，研究所等において研究に従事したことのある方のみ該当
※研究業績目録（様式10）	学術論文等を別刷又は写しで添付してください。
最終学歴に関する 証明書	卒業（見込）証明書（出身大学（学部）長が作成したもの）， 成績証明書（出身大学（学部）長が作成し，厳封したもの） 修士課程修了（見込）者は修士課程の修了（見込）証明書 及び成績証明書も提出してください。

②出願資格（7），（9）～（12）に該当する方

※出願資格認定申請書 （様式7）	必要事項を記入してください。
※志望理由書（様式8）	本研究科を志望した理由及び入学後の研究志望の概要を記入してください。
在学証明書又は 在学期間証明書	出身大学（学部・研究科）長が作成したもの
成績証明書	出身大学（学部・研究科）長が作成し，厳封したもの
学修に関する資料	出身学部カリキュラムが確認できるもの

（3）資格審査

出願資格審査は、提出された申請書類により在学年数、取得単位等を基に行います。

（4）結果通知

第1次募集 平成26年7月25日（金）

第2次募集 平成27年1月23日（金）

同日中に本人あてに審査結果通知書を発送します。出願資格を認定された方は、出願手続きをしてください。

4. 出願手続

（1）出願手続期間

第1次募集 平成26年7月28日（月）～平成26年8月 8日（金）

第2次募集 平成27年1月26日（月）～平成27年2月13日（金）

受付時間 9時～17時（ただし、土曜日、日曜日及び祝日は受け付けません。）

（郵送の場合は簡易書留郵便とし、出願期間内に必着）

（2）出願書類等提出先

〒390-8621 長野県松本市旭3丁目1番1号
信州大学医学部大学院係

(3) 出願書類等 (※印は本研究科所定の用紙)

※入学志願票 (様式 1)	この募集要項に添付する用紙に記入してください。
※履歴書 (様式 2)	高等学校卒業から現在に至る経歴 (国家試験合格、臨床研修を含む) を年次に従い、もれなく記入してください。
※受験票・写真票 (様式 3)	写真 (出願日前 3 か月以内に撮影した、縦 4 cm×横 3 cm、上半身、無帽、正面向き、背景なしのもの) をそれぞれに貼り付けてください。
成績証明書	出身大学 (学部) 長が作成し、厳封したものとします。 修士課程修了 (見込) 者は、修士課程の成績証明書も提出してください。(本学医学部・医学系研究科出身者は不要)
卒業証明書	出身大学 (学部) 長が作成したもの (本学医学部・医学系研究科出身者は不要)
修士課程修了 (見込) 証明書	修士課程修了 (見込) 者は提出してください。(本学医学系研究科出身者は不要)
※入学検定料納付 確認書 (A 票)	<p>① 入学検定料 30,000 円をこの募集要項に添付する振込依頼書 (C 票) を使用して、 (第 1 次募集) * 白色の用紙 <u>平成 26 年 7 月 22 日 (火) から平成 26 年 8 月 8 日 (金)</u> (第 2 次募集) * 黄色の用紙 <u>平成 27 年 1 月 19 日 (月) から平成 27 年 2 月 13 日 (金)</u> までの間に金融機関から電信扱いで振り込んでください。振込みには、別途振込手数料が必要です。なお、郵便局 (ゆうちょ銀行) からの振込みはできません。また、ATM (現金自動預支払機)、携帯電話及びパソコンからの振込みは行わないでください。</p> <p>② 振込み後、納付確認書 (A 票) 及び領収書 (B 票) を受け取り、A 票、B 票の所定欄に金融機関の収納印があることを確認し、納付確認書 (A 票) を提出してください。 また、「取扱金融機関収納印」欄には、出願期間最終日までの収納印があるものに限り有効となりますので、特に出願期間最終日に振り込まれる場合は、金融機関の窓口での受付時間を確認のうえ、行ってください。</p> <p>③ 出願期間最終日に持参により提出する方で、金融機関の窓口終了時まで振込みができなかった方についてのみ、現金による納付を受け付けます。</p> <p>* 本学の大学院研究科修士課程を修了見込みの方は、入学検定料は不要です。</p>
※受験承諾書 (様式 4)	官公庁、民間病院等に在職中の方は、勤務先の所属長が作成した受験承諾書を提出してください。
※受験票送付用封筒	この募集要項に添付する封筒に郵便番号、住所及び氏名を明記して 82 円分の切手を貼ってください。(本研究科ホームページから学生募集要項をダウンロードして出願される方は、ご自身で長形 3 号の封筒をご用意ください。)
※宛名票 (様式 5)	合格通知書等の送付先を記入してください。
※外国人留学生申請書 (様式 6)	外国人志願者のみ提出してください。
住民票の写し	外国人志願者のみ提出してください。 市区町村長が発行したものとします。住民票の写しを提出できない場合はパスポート (身分事項のページ) の写しを提出してください。

(4) 出願方法

「(3) 出願書類等」を一括して郵送又は持参してください。なお、郵送の場合は、封筒の表に「大学院博士課程入学願書在中」と朱書きし、必ず簡易書留としてください(出願期間内必着)。出願書類受理後、受験票を本人宛に送付します(出願期間終了日以降)。

5. 選抜方法等

入学者の選抜は、筆答試験、面接試問の結果及び成績証明書を総合して行います。

- (1) 筆答試験は、外国語(英語)により行います。なお、辞書(医学用語辞典を含む。)の持ち込みを可とします。ただし、電子辞書及び辞書機能をもつ電子機器類は不可とします。
- (2) 面接試問は、志望する専攻科目について行います。

試験日時・場所

期日	時間	試験科目	試験場
第1次募集 平成26年9月3日(水)	10:00~12:00	外国語 (英語)	信州大学医学部
第2次募集 平成27年3月4日(水)	13:00~	面接試問	※詳細は受験票送付時に通知します。

6. 合格発表

日時

第1次募集 平成26年9月11日(木) 10時

第2次募集 平成27年3月13日(金) 10時

信州大学医学部大学院生用掲示板に掲示するとともに、同日中に合格者に対し合格通知書を発送し、公式発表とします。また、信州大学大学院医学系研究科ホームページに合格者の受験番号を発表しますが、必ず合格通知書又は掲示板で確認願います。なお、電話やメール等による合否のお問い合わせには応じられません。

(<http://www.shinshu-u.ac.jp/graduate/medicine/>)

7. 入学手続

合格者は、次により入学手続を行ってください。なお、詳細については合格通知書に同封してお知らせいたします。

(1) 入学手続期間

平成27年3月16日(月)~平成27年3月20日(金)

受付時間 9時~17時

(2) 入学手続場所

信州大学医学部大学院係

(3) 入学料の納入等

①銀行振込により所定の入学料を納入してください。

②既納の入学料は、どのような理由があってもお返しできません。

③入学料・授業料の納入が著しく困難な方には、免除制度、徴収猶予制度及び月割分納制度(授業料のみ)があります。

(4) 手続に当たっての注意事項

入学手続締切期日までに入学手続を完了しない場合は、本学への入学を辞退したものと取り扱います。

8. 募集要項請求方法

郵送を希望する場合は、封筒の表に「大学院学生募集要項(博士課程)請求」と朱書きし、返信用封筒(角形2号(横24cm×縦33.2cm)に250円分の切手を貼り、郵便番号、住所及び氏名を明記)と連絡先(電話番号及びメールアドレス)の記載されたものを同封し、信州大学医学部大学院係(〒390-8621 長野県松本市旭3丁目1番1号)まで請求してください。

9. 注意事項

- (1) 本研究科に入学を希望する方は、あらかじめ志望する研究分野の担当教授と研究内容等について相談のうえ、出願してください。
- (2) 受理した出願書類及び検定料は、どのような理由があってもお返しできません。また、提出後の記入事項の変更は認めません。なお、検定料を誤って二重に振り込んだ場合又は振り込んだが本学に出願しなかった（出願書類等を提出しなかった又は出願が受理されなかった）場合は、本人の請求により納入された検定料（二重に振り込んだ場合は重複して納入された分）の返還が可能です。返還手続については、本学のホームページ（入試情報／大学院入試／入学検定料返還手続）をご覧ください。（<http://www.shinshu-u.ac.jp/admission/>）
- (3) 出願手続後、現住所又は緊急連絡先に変更が生じたときは、速やかに信州大学医学部大学院係に連絡してください。

信州大学大学院医学系研究科
〒390-8621 松本市旭3丁目1番1号
電話(0263)37-3376（直通）
信州大学大学院医学系研究科ホームページ
<http://www.shinshu-u.ac.jp/graduate/medicine/>

信州大学大学院医学系研究科博士課程入学案内

1. 目的

本大学院医学系研究科博士課程は、医学に関する学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めて、文化の進展に寄与するとともに、専攻分野に関する高度な研究指導者を養成することを目的とします。

2. 標準修業年限 4年

3. 履修方法

本研究科において4年以上在学し、次に定める科目を含めて30単位以上を修得します。

単位修得の認定は、試験又は研究報告によって行います。

専門領域における研究指導は複数教員による指導体制のもとに行います。

(1) 医学系専攻

① 研究科共通科目 I	6 単位以上	② 研究科共通科目 II	6 単位
③ 分野別開設科目	10 単位以上	④ 研究特論	8 単位

(2) 疾患予防医科学系専攻

① 研究科共通科目 I	6 単位以上	② 研究科共通科目 II	6 単位
③ 専攻共通科目	2 単位	④ 専攻科目	10 単位
⑤ 研究特論	8 単位		

4. 学位授与

本研究科に4年以上在学し、所定の単位を修得し、更に独創的な研究に基づく学位論文を提出し、その審査に合格し、かつ学位論文を中心とした最終試験に合格した方には、博士(医学)の学位が授与されます。ただし、優れた研究業績を上げた方については、3年以上在学すれば足りるものとし、(社会人入試の学生を除く)。

5. 入学料・授業料

入学料 282,000円

授業料 (前期) 267,900円 (後期) 267,900円

金額は平成26年4月現在のもので、入学時及び在学中に入学料・授業料が改定された場合には、改定時から新入学料・新授業料が適用されます。納付金の額及び納付の方法については、合格通知書に同封しお知らせします。なお、本学の大学院研究科修士課程を修了し、引き続き博士課程に進学する方は、入学料を納付する必要はありません。

6. 奨学金制度

日本学生支援機構から大学院学生に対する奨学金制度があります。

貸与額は月額80,000円と月額122,000円(第一種奨学金 平成26年度)の2種類から選択できます。また、この選考は学業成績及び研究能力、家庭の経済的事実等を考慮して行われます。

信州大学大学院医学系研究科博士課程の組織及び研究内容

※ 各メールアドレスの後の「shinshu-u.ac.jp」を省略してあります。

専攻名	教室	指導教授	主な研究内容
医 学 系	組織発生学	佐々木 克典 katsmd@	<ul style="list-style-type: none"> ・ES・iPS細胞生物学 ・臓器工学 ・臨床解剖学
	人体構造学	森泉 哲次 tmori@	<ul style="list-style-type: none"> ・神経解剖学 ・神経生物学 ・神経系の発生・再生 ・機能解剖学
	病理組織学	菅野 祐幸 hirokan@	<ul style="list-style-type: none"> ・人体病理学（膠原病・腎・血管，前立腺，リンパ造血系の病理） ・EBウイルス感染の病理，免疫病態 ・炎症による発がん促進
	感染防御学	中山 淳(兼務) jnaka@	<ul style="list-style-type: none"> ・移植と感染症 ・日和見感染症 ・感染免疫学 ・免疫不全症
	器官制御生理学	選考中	<ul style="list-style-type: none"> ・微小ならびにリンパ循環の生理，病態生理学的研究 ・癌のリンパ行性転移，Sentinel Lymph Node (SLN) の病態生理的研究
	分子細胞生理学	田淵 克彦 ktabuchi@	<ul style="list-style-type: none"> ・大脳生理学（脳機能の解明） ・精神・神経疾患の原因解明
	分子薬理学	山田 充彦 myamada@	<ul style="list-style-type: none"> ・心筋・骨格筋の分子薬理学 ・イオンチャネルの分子薬理学
	分子薬理学 〔臨床薬理学〕	大森 栄 somori@	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒト胎児肝細胞における医薬品を含む異物に対する防御機構の解明 ・ヒト中枢神経細胞における薬物代謝酵素の機能解析 ・薬物代謝酵素を介した薬物間相互作用の機序解明
	免疫・微生物学	竹下 敏一 takesit@	<ul style="list-style-type: none"> ・リンパ球増殖・分化の分子制御機構 ・サイトカインのシグナル伝達機構 ・腫瘍ウイルスによる発癌機構
	免疫制御学	瀧 伸介 takishin@	<ul style="list-style-type: none"> ・生体防御の分子機構 ・免疫異常およびアレルギーの発症機構
	分子細胞生化学	選考中	

専攻名	教室	指導教授	主な研究内容
医学系	内科学 〔呼吸器内科学 ・感染症学〕	花岡 正幸 masayuki@	<ul style="list-style-type: none"> 慢性閉塞性肺疾患(COPD)・気管支喘息の気道・肺の炎症に関する研究 COPDの病態に関する基礎的研究 胸部悪性腫瘍の治療に関する研究 間質性肺疾患の病態・治療に関する研究 新興・再興呼吸器感染症に関する臨床研究 非結核性抗酸菌症の病態・治療に関する研究 高山病・高地肺水腫の病態に関する研究 睡眠時無呼吸症候群の病態・治療に関する研究 急性呼吸窮迫症候群の病態・治療に関する研究
	内科学 〔消化器内科学 腎臓内科学 血液内科学〕	田中 榮司 etanaka@	<ul style="list-style-type: none"> ウイルス肝炎の抗ウイルス療法 de novo B型肝炎の発症機序と予防 自己免疫性肝疾患の遺伝子多型と病態 非アルコール性脂肪性肝炎の病態と治療 IgG4関連疾患の病態解明 消化管悪性リンパ腫の診断と治療 T-NK細胞増殖性疾患の病態解明 難治性血液疾患に対する造血幹細胞移植 糸球体腎炎の成因解明と治療法の開発
	内科学 〔脳神経内科学 リウマチ・ 膠原病内科学〕	池田 修一 ikedasi@	<ul style="list-style-type: none"> 代謝性神経筋疾患(アミロイドーシス)の成因と治癒に関する研究 神経変性疾患(脊髄小脳変性症, パーキンソン病, ALS)の成因解明 末梢神経障害の生理学的解析および治療法の開発 免疫性神経疾患の成因と治癒に関する研究 筋ジストロフィーの研究 リウマチ関連疾患, 膠原病の成因解明と治療法の開発 成人型シトルリン血症の病態解明 遺伝性周期熱の病態解明と治療法の開発
	内科学 〔糖尿病・内分泌 代謝内科学〕	駒津 光久 mitsuk@	<ul style="list-style-type: none"> 2型糖尿病の病態解明 樺ラ氏島の生物学 甲状腺ホルモン作用機序 遺伝性, 家族性発症の腫瘍疾患の遺伝子診断とその治療への応用 加齢現象と疾患に関する基礎的研究および内分泌代謝疾患の研究 各種病態における栄養学
	内科学 〔循環器内科学〕	池田 宇一 uikedai@	<ul style="list-style-type: none"> 心エコーによる心機能解析 不整脈疾患の病態解析 冠動脈疾患のイメージング解析 閉塞性動脈硬化症の先端医療 心臓リハビリテーションの啓発活動 幹細胞を用いた心血管再生医療 心血管疾患における炎症の関与
	小児医学	小池 健一 koikeken@	<ul style="list-style-type: none"> 小児白血病(白血病発症の病因, サイトカインと白血病細胞) 小児腫瘍学(がん免疫療法, 特に遺伝子改変T細胞療法の開発) 小児血液学(サイトカインと造血機能, 造血幹細胞移植, エピジェネティクスと造血機構) 小児免疫学(原発性免疫不全症候群, 自己炎症症候群の解析) 遺伝子治療学(原発性免疫不全症の治療モデルの開発) 小児アレルギー学(アレルギーの病態解明) 小児神経学(発達障害の生物学的基盤の解析と神経免疫疾患の病態の解明) 新生児学(呼吸循環障害の病態解明) 小児内分泌疾患の遺伝子解析・診断 小児消化管疾患(消化管アレルギーと炎症の病態解明) 難治川崎病に対するレミケードの治療効果 マルファン症候群に対するロサルタンの治療効果 小児心疾患(乳児期・幼児期における心筋細胞の分化・発育について, 薬剤のおよぼす影響について)

専攻名	教室	指導教授	主な研究内容
医学系	皮膚科学	奥山 隆平 rokuyama@	<ul style="list-style-type: none"> ・悪性黒色腫の臨床診断精度の向上に関する研究 ・悪性黒色腫の新しい治療法（免疫化学療法、遺伝子治療など）の開発 ・皮膚腫瘍の分子細胞生物学的な診断システムの開発 ・表皮細胞の増殖・分化制御と発癌機構に関する分子細胞生物学的解析 ・酸化ストレス応答の面からのアトピー性皮膚炎の病態解析 ・乾癬の新しい診断法の確立と臨床応用
	画像医学	角谷 眞澄 kadoyam@	<ul style="list-style-type: none"> ・画像診断による病変の早期発見と鑑別診断 ・画像診断による疾患の病態解明 ・画像診断法の治療応用（IVR） ・新しい画像診断法・治療法の開発 ・悪性腫瘍の放射線治療を中心とする集学的治療
	外科学 〔消化器外科学 移植外科学 小児外科学〕	宮川 眞一 shinichi@	<ul style="list-style-type: none"> ・消化器外科（消化管、肝臓・胆道・膵臓） ・移植外科（肝移植） ・小児外科 ・臓器移植と再生医療（同種・異種移植、拒絶反応、肝再生、ES細胞を用いた肝様構築に関する研究） ・腫瘍学（分子標的治療、癌細胞のアポトーシス誘導、癌幹細胞）
	外科学 〔心臓血管外科学 呼吸器外科学 乳腺内分泌外科学〕	選考中	<ul style="list-style-type: none"> ・心臓血管外科 ・呼吸器外科 ・乳腺内分泌外科（甲状腺、乳腺、上皮小体） ・外科腫瘍学（分子腫瘍学、がんの遺伝子治療、抗がん剤耐性の研究、血管新生機構の解明、心臓腫瘍） ・臓器移植 ・再生医療 ・外科侵襲学
	産科婦人科学	塩沢 丹里 tanri@	<ul style="list-style-type: none"> ・産婦人科腫瘍の発生と進展機序 ・産婦人科腫瘍に対する新しい治療法の開発 ・産婦人科腫瘍の病理診断 ・胎盤の老化の分子機序の研究 ・不妊症の診断と新しい治療法の開発
	泌尿器科学	選考中	<ul style="list-style-type: none"> ・神経泌尿器科 ・尿路性器腫瘍 ・尿路形成手術 ・尿路再生 ・女性泌尿器科 ・腎臓移植
	運動機能学	加藤 博之 hirokato@	<ul style="list-style-type: none"> ・骨・軟骨・腱の再生医療と加齢メカニズム ・骨粗鬆症と骨代謝 ・手指、関節、脊椎の外科に対する新しい治療法の開発 ・末梢神経障害の病態の解明 ・筋、腱、関節のバイオメカニクス ・カーボンナノチューブの生体応用 ・骨軟部腫瘍の病態と治療法の解明
	形成再建外科学	松尾 清 kmatsuo@	<ul style="list-style-type: none"> ・眼瞼形成外科と不定愁訴 ・乳房再建外科・リンパ浮腫の外科 ・頭蓋顎顔面外科 ・手の外科 ・唇顎口蓋裂
	歯科口腔外科学	栗田 浩 hkurita@	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔悪性腫瘍 ・顎関節疾患 ・人工骨材料および培養粘膜 ・歯科インプラント ・唾液

専攻名	教室	指導教授	主な研究内容
医学系	麻酔蘇生学	川真田 樹人 kawamata@	<ul style="list-style-type: none"> 手術痛や癌性疼痛の疼痛メカニズムと新たな鎮痛薬の開発 麻酔と交感神経活動との研究 中枢神経損傷時のオピオイドの神経毒性 麻酔と情動に関する研究 麻酔薬と血管新生に関する研究
	精神医学	天野 直二 namano@	<ul style="list-style-type: none"> 統合失調症, 気分障害の臨床・生物学的研究 症状性, 器質性精神病の臨床・生物学的研究 老年期精神障害の要因, 疫学, 診断, 治療学的研究 認知症疾患 (アルツハイマー型認知症, 血管性認知症) の画像診断と治療学 発達障害などの児童思春期の臨床研究 リエゾン・コンサルテーション精神医学
	脳神経外科学	本郷 一博 khongo@	<ul style="list-style-type: none"> 脳神経外科手術のより安全な手術手技と支援機器ならびにモニタリングの開発 脳神経外科手術のための微小脳神経解剖学 脳微小循環における血流制御の解明 微小遠隔脳神経外科手術システムの開発 脳腫瘍 (特に神経膠腫) における遺伝子診断とテララーメイド治療の研究 脳腫瘍における生物学的機能の解析
	眼科学	村田 敏規 murata@	<ul style="list-style-type: none"> 網膜硝子体疾患 緑内障 ぶどう膜炎 糖尿病網膜症 加齢黄斑変性
	耳鼻咽喉科学	宇佐美 真一 usami@	<ul style="list-style-type: none"> 難聴の遺伝子解析 人工内耳 宇宙医学 (内耳における神経伝達機構) 耳鼻咽喉科疾患の分子生物学
	遺伝医学・予防医学	福嶋 義光 yfukush@	<ul style="list-style-type: none"> 遺伝医学, 分子細胞遺伝学 遺伝疾患の遺伝子解析 臨床遺伝学 遺伝カウンセリング
	衛生学公衆衛生学	野見山 哲生 nomiyama@	<ul style="list-style-type: none"> 環境医学 産業医学 (中毒学・疫学) 疫学 公衆衛生 (母子保健・精神保健 他) 臨床疫学
	医学教育学	多田 剛 tadatsu@	<ul style="list-style-type: none"> 試験問題作成の省力化と教員の教育能力向上を目指す試験問題作成支援ソフトの開発とその成果 本邦の医学教育に適した少人数学習の開発とその成果 学外医療従事者に対する医学教育啓発方法の開発 本邦に適した医学シミュレーション指導法の開発
	医学教育学 〔医療情報学〕	選考中	<ul style="list-style-type: none"> 医療情報学 病院情報システム 医療情報連携システム 電子カルテにおける個人情報保護
	病態解析診断学	本田 孝行 thondat@	<ul style="list-style-type: none"> 上皮性腫瘍の外科病理学と組織化学 間質性肺炎の病態解析 H. pylori の臨床病理学 凝固線溶糸の分子生物学的解析

専攻名	教室	指導教授	主な研究内容
医学系	法医学	浅村 英樹 asamura@	<ul style="list-style-type: none"> ・法医遺伝子学 ・法医病理学 ・法中毒学 ・DNA タイピングと疾患原因遺伝子の解析
	救急集中治療医学	選考中	<ul style="list-style-type: none"> ・脳心肺蘇生法の開発 ・人工呼吸法の開発 ・体外式心肺補助法の開発 ・重症臓器不全における治療法の開発 ・災害医療
	包括的がん治療学	小泉 知展 tomonobu@	<ul style="list-style-type: none"> ・がん患者長期生存を目指した新しい集学的治療法の開発 ・がん患者の QOL 向上を目指した新たながん医療サポートシステムの開発 ・がん化学療法，放射線治療，緩和治療などの治療法の開発 ・樹状細胞免疫療法の開発

専攻名	教室	指導教授	主な研究内容
独立専攻	疾患予防医科学系	加齢生物学	樋口 京一 keiichih@ <ul style="list-style-type: none"> ・加齢生物学, 老化防止法の開発 ・アミロイドーシスの病態解析 ・モデル動物を用いた老化遺伝学 ・運動反応性遺伝の解析
		神経可塑性学	鈴木 龍雄 suzukit@ <ul style="list-style-type: none"> ・神経可塑性発現の分子メカニズム ・シナプスの分子構築, 特にシナプス後肥厚部および膜ラフト ・神経細胞内情報伝達 ・神経疾患の基礎研究
		分子腫瘍学	谷口 俊一郎 stangch@ <ul style="list-style-type: none"> ・Scaffold(細胞骨格および核骨格)蛋白質と癌形質およびその制御 ・ASC 遺伝子の機能解析とメチル化による発現制御 ・遺伝子治療のためのベクター開発 ・自然免疫・アレルギー・慢性炎症の解明
		分子病理学	中山 淳 jnaka@ <ul style="list-style-type: none"> ・診断病理学 ・分子病理学 ・糖鎖生物学 ・組織細胞化学
		代謝制御学	青山 俊文 aoyamato@ <ul style="list-style-type: none"> ・核内リセプターの生理機能探索 (脂肪代謝・輸送・糖代謝・抗炎症) ・肥満・高脂血症発生機構の解明, 治療薬の検討 ・環境ホルモンによる生殖器障害発生機構の探求 ・病態栄養学 (コレステロール・トリグリセライド・糖質) ・病態におけるスルファチドの役割・機能について
		循環病態学	新藤 隆行 tshindo@ <p>トランスジェニックマウスやノックアウトマウスを, 当教室で独自に作成し, その解析から, 再生医療をはじめとした新たな治療法開発や, 疾患発症のメカニズム解明を目指した研究を行っている。このため, ES 細胞の遺伝子操作や, 胚操作技術に加え, 現在の医学研究の様々な手法を集約的に導入している。(詳細は教室 HP をご覧下さい。: http://www7a.biglobe.ne.jp/~shindo/)</p>
		スポーツ医科学	能勢 博 isports@ <ul style="list-style-type: none"> ・運動生理学 ・環境生理学 ・温熱生理学 ・運動トレーニング, 環境適応過程における体液循環調節機構 ・暑熱適応, 寒冷適応 ・高地適応メカニズムの解明 ・老化防止のための運動処方に関する研究
		健康教育心理学	寺澤 宏次 高橋 知音 <ul style="list-style-type: none"> ・記憶・認知に関する心理学的実験研究 ・学習意欲に関する教育心理学的研究 ・発育・発達についての心理学的研究 ・子どもの脳の発達についての教育心理学的研究 ・運動コミュニケーション ・高齢者の健康教育に関する研究
		老化制御学	鈴木 隆雄 駒野 宏人 <ul style="list-style-type: none"> ・高齢期の QOL ・ロコモティブシンドロームの予防 ・骨粗鬆症の予防 ・神経内分泌を介した寿命・老化の制御メカニズム ・アルツハイマー病におけるアミロイドβ蛋白質の産生機構

この募集要項に関する照会先

信州大学医学部大学院係

〒390-8621 長野県松本市旭 3 丁目 1 番 1 号

TEL 0263 (37) 3376 (直通)

FAX 0263 (37) 3080

信州大学大学院医学系研究科ホームページ

<http://www.shinshu-u.ac.jp/graduate/medicine/>

※個人情報の利用について

信州大学における入学試験を通して取得した個人情報については、入学試験のほか次の目的のために利用いたします。

- ① 入学手続
- ② 学籍管理
- ③ 学習指導
- ④ 学生支援関係業務
- ⑤ 入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究

なお、調査・研究及び結果の発表に際しては、個人が特定できないように処理します。